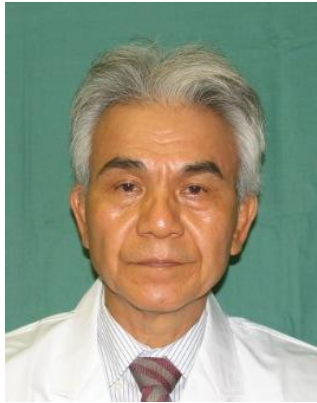


はじめに

新城市民病院 リハビリ科部長医師 樋下田 稔昭 (常勤嘱託医師)



当院へ赴任してわずか9ヶ月だがその間に鳳来や作手の入院患者さんから、ここに入院できてよかった、という意味の言葉を何度かいただいたか知らない。それだけ当院が地域医療に果たす役割は無限大にあり、地域住民の切実な願いであることがわかる。私は大学卒業以来新たに病院に赴任した時のあいさつとして一貫して、地域医療のために全力を尽くします、と言ってきて、救急・手術を主たる手段とする臨床医として長年やってきた。しかし地域医療とは何か、そのために具体的に何をすべきかということは結局わからない。わかったことは、相手は余りに大物で個人の手に負えるものではない、結果的に自分は地域住民の役に立ったかたまたまなかったかを自己判断するしかない、ということだった。最も重要なことは病院と住民との信頼関係だということは学んだと思う。昨今薄れていると感じるその関係を濃密なものに再構築するためには、各人がそれぞれの部署でできる限りの努力をするしかない、

私でいえば、総合内科、リハビリテーション科、脊髄外科の一員として、また関係構築に最も重要な救急、そして健診の現場で、目の前の一人ひとりを丁寧に診て確実に良い結果を出すことしかないと思うし、それしかできないし、そのようにやって来たつもりである。できたら病気や患者さん一人一人と対峙するのではなく、同一線上に並んで同じ方向に向かって進んで行きたいと思い、それが私の地域医療だが、道は遠い。

開業医訪問 むらまつ内科

院長 村松 澄之

副院長 村松 学



当地に内科系診療所を開設し、40年が過ぎました。毎日5~6名ほどの往診、ほぼ24時間対応で、死亡診断書や検案書など月数件のペースで頑張った頃が懐かしく思い出されます。

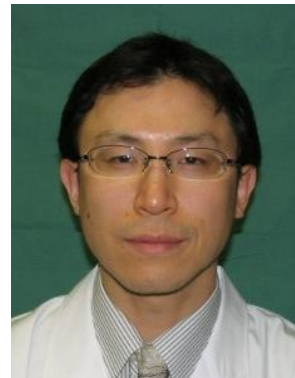
昨今少子高齢化の進行、医療訴訟の増加、国家財政の硬直化などにつれ、医療制度の変わり様は目まぐるしく、医療のIT化など老医にはお手上げです。

小院も狭苦しくなり老朽化。昨年全面改築し、息子(糖尿病専門医、内科、小児科など)を迎えて、只今諸々の業務を移行中、遠からず院長は隠居となります。

今後はまた昔のように自宅で尊厳死に近い形で終末を望む方が増えそうですが、なるべく地域の皆さんの要望に答えるように頑張って参りたいと思います。

勤務医訪問 新城市民病院

消化器科・外科医師 杉澤良太



初めまして。平成22年4月より新城市民病院外科に赴任してまいりました杉澤良太です。出身は静岡県の伊豆です。浜松医科大学に属しており医師免許を取得して本年度で7年目となります。まだまだ未熟者ではありますが、奥三河の地域医療のお役に立てるよう今後も精進していきます。

私は消化器が専門となります。腹部疾患に対しての外來・手術・内視鏡検査等を担当させて頂いております。現在当院では細径ファイバーを用い鼻から胃カメラを入れることが可能になりました。以前の胃カメラが苦手だった方も上手に検査を受けることができるようになり患者様からの評判も良好です。また大腸カメラに関しましても点滴の鎮痛剤鎮静剤を使用し苦痛の無い検査とするように努めています。最近近隣の開業医の先生方より早めのご紹介を頂き大腸ポリープの段階で切除可能となる症例が増えてきています、御高配の程誠にありがとうございます。

これからも地域の皆様のお役にたてるよう精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

むらまつ内科



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日・祝 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 午前8:30~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 |
| 午後3:00~ 7:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 診 |

※院長は水、木曜日の午後休診となります。

診療科目：内科、小児科、アレルギー科、糖尿病内分泌内科、
消化器内科

住 所：新城市字石名号4-5

電 話：0536-22-0026

URL://www.muramatsu-naika.com/

市民病院消化器科・外科



外科・消化器科 診療表

| | 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|------------|----|----|----|----|----|
| 午前 | 8:00~11:30 | 金子 | 金子 | 金子 | 横井 | 杉澤 |
| 午後 | — | 手術 | 手術 | 手術 | 手術 | 手術 |

「Smile・スマイル」

代表 森 容子

初めまして。「Smile・スマイル」と申します。スマイルは、発達につまずきを持つ子どもと親の会です。2005年から、発達につまずきを持つ子どもの親同士集まっていろいろ話そうよ！とスタートしました。

<会の目的は、>

- ・障害特性ゆえに学校生活や社会生活などに困難がある子ども達を理解し、サポートする。
- ・親同士が集まって、情報交換や悩みの相談など気軽に話し合える場を作る。

などです。

<会の内容は、>

- ・スマイルの会（主に小学生以上の子どもと親を対象とした情報交換の場です。）
- ・スマイルキッズ（未就学児の子どもと親が対象の集いです。）
- ・視覚支援作成会（情報をうまく処理できるようなグッズを作ります）等

このような定例会を毎月1回ししろ福社会館にて行っています。

<視覚支援作成会の風景>



どうしたらうまく伝わるかな



「家に帰ったらこんな感じで
過ごそうね・・・」
帰宅後の予定を伝えるものです。



忘れ物をしないように・・・
「かばんに入れるものは
この5つです。」
それを伝えるためのグッズです。

現在20名程のメンバーと共に、時には涙ありでも、「Keep Smiling」笑顔を持ち続けたいと活動しています。

電話・FAX 050-1432-4621

ホ-ム-ジ <http://www.geocities.jp/smiletasetunakimi/index.html>